


学部・大学院年表

<p>政経学部</p>		
<p>1949(昭和 24)年</p>	<p>5月</p>	<p>戦後の広島大学の新生を象徴するごとく、政経学部(政経学)に政経学科を設置。</p>
<div data-bbox="150 510 568 819" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="150 819 568 902" data-label="Caption"> <p>▲往年の江波校舎</p> </div>		
<p>1950(昭和 25)年</p>	<p>4月</p>	<p>勤労学生の助けとならんと政経学部第二部(夜間部・5年課程)を併設。学生定員80名でした。</p>
<p>1957(昭和 32)年</p>	<p>4月</p>	<p>政経学部、東千田キャンパスに移転。</p>
<div data-bbox="150 1350 568 1630" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="150 1630 568 1742" data-label="Caption"> <p>▲往年の千田校舎</p> </div>		
<p>1965(昭和 40)年</p>	<p>4月</p>	<p>法律政治学科と経済学科の2学科に分離改組しました。学生定員は、各学科とも(昼)80名、(夜)40名で、計(昼)160名、(夜)80名になりました。</p>
<p>1972(昭和 47)年</p>	<p>4月</p>	<p>大学院法学研究科(修士課程)を設置。</p>

<p>法学部</p>		
<p>1977(昭和 52)年</p>	<p>5月</p>	<p>政経学部を発展的に分離改組して、法学部と経済学部を設置。法学部は大講座制となり、4講座(公法、民事法、国際関係、政治)が置かれました。学生定員は(昼)150名、(夜)90名でした。</p>
<p>1986(昭和 61)年</p>	<p>4月</p>	<p>大学院社会科学研究科(博士課程)を設置し、それまでの大学院法学研究科を、以後は発展的に解消することになりました。</p>
<p>1988(昭和 63)年</p>	<p>3月</p>	<p>政経学部の最後の在学生在が卒業し、事実上ここで政経学部は廃止となります。</p>
<p>1995(平成7)年</p>	<p>4月</p>	<p>広島大学の統合移転の一貫として、法学部(昼間部)が東広島市の東広島キャンパスの新校舎に移転しました。それに伴って法学部第二部を夜間主コース(昼夜開講制・4年課程)に改組し、広島市内の東千田キャンパスに存置しました。</p>



▲東広島新校舎

<p>2000(平成 12)年</p>	<p>10月</p>	<p>東千田キャンパスには、1997年の東千田校舎に続いてこの年に東千田総合校舎が完成し、図書分室などの設備が新たに加われました。</p>
 <p>▲東千田新校舎</p>		
<p>2004(平成 16)年</p>	<p>4月</p>	<p>大学院法務研究科(法科大学院)が設置(東千田キャンパス)されたのに伴い、大学院社会科学研究科 法政システム専攻を設置(東広島キャンパス)しました。これまでの大学院社会科学研究科法律学専攻は、この後は発展的に解消されることとなりました。</p>